

北アルプス広域連合

●北アルプス広域連合広報紙 ●2021年3月31日発行
●北アルプス広域連合 ●長野県大町市大町1058-33
●北アルプス市町村会館内 TEL. 0261-22-6764
E-mail: kitaalps@kita-alps.omachi.nagano.jp

●大町市 ●池田町 ●松川村 ●白馬村 ●小谷村

北アルプス遊・交・学

<http://www.kita-alps.omachi.nagano.jp/>

vol.83

白沢峠と白沢村有林トレッキングコース

白沢峠は、白馬村と長野市鬼無里を結ぶ国道406号線上にある峠です。白馬村から上がっていくと二つ目のトンネル（洞門）が白沢洞門で、洞門の手前（白馬村側）に展望台があり、後立山連峰を一望するビュースポットとなっています。

白沢洞門の鬼無里側出口から100mほど進んだ左手側に、白沢村有林トレッキングコースの入口があります。白馬村では、一昨秋に、村有林調査の一環として、このトレッキングコース（約5km）の整備を行いました。ここはかつて、白馬と鬼無里・戸隠を結ぶ古道が通っており、往時は「戸隠山・善光寺参り」の旅人たちの街道として賑わっていました。白沢洞門の真上から東にのびる尾根道に、夫婦岩と呼ばれる平型と凸型の二つの岩があり、この地点が白馬村・小川村・旧鬼無里村の三村の境となっています。

（白沢村有林トレッキングコースは、まだ整備ができていない箇所もあり、また、野生動物も多いので、訪問の際には十分に気をつけてください。）



白沢村有林トレッキングコース

人口と世帯
北アルプス広域圏

（令和3年3月1日現在 長野県調べ）

人 □ 56,000人
世帯数 23,038世帯

主な
内容

- 議会報告11月定例会・2月定例会について
- 令和3年度予算について
- 消防からのお知らせ
- 旧規格の消火器を設置していませんか？

11月定例会開催

令和2年11月12日に11月定例会が開催されました。

11月定例会では予算案件3件の議案が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

令和2年度補正予算について

人事異動等、職員配置の変動に伴う人件費の調整のほか、主なものは以下のとおりです。

▼一般会計（第4号）

衛生費において、白馬リサイクルセンター建設工事に関わる経費の増額。エコパーク維持補修費の組み替え。

▼介護保険事業特別会計（第2号）

新型コロナウイルス感染症による介護事業所への支援策に伴う保険給付費の増額、過年度分介護給付費国庫負担金償還金、地域支援事業費交付金償還金の増額。

▼老人福祉施設等事業特別会計（第2号）

人事異動等による職員給与費の減額。

一般質問（要旨・抜粋）

岡 秀子議員（大町市）

「第5次広域計画について」

問

SDGsのジェンダー平等への取り組みについて

答

第5次広域計画では、消防、介護・福祉施設においてSDGsの目標のジェンダー平等を表示している。

広域消防では、本年度、当消防本部として初めて女性消防職員を採用し、仮眠室やシャワー室等の改修を行い、男性、女性ともに働ける職場環境の整備を図った。

これにより、「あらゆる場における、あらゆる形態の差別を撤廃する」を実現するとともに、消防業務における多様性が、発揮できるものと期待する。

次に、養護老人ホーム鹿島荘等の介護・福祉施設での取り組みについて、従前は「介護は家族の問題」という意識が根強くあり、とりわけ家族の中でも、女性への負担の大きさが問題とされていた。

介護・福祉施設において良質なサービスを提供することが「経済、公共分野における効果的な女性の参加と平等なリーダーシップの機会を確保すること」の後押しとなり、女性の社会進出をさらに促進することに繋がるものと考ええる。

以上のように、当広域連合が担っている事業において、SDGsの169のターゲットのうち「あらゆる場所における全ての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。」「政治、経済、公共分野での、あらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画、及び平等なリーダーシップの機会を確保する。」「公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。」という、3つのターゲットを念頭に置き、第5次広域計画に位置付けている。

広域計画は、長野県及び構成市町村の諸施策との調和を図る必要があり、いずれもSDGsに関する表示や記述がされていることから、第5次広域計画の策定に当たり、SDGsの目標を関連付けた。

広域計画の中では「世界基準であるSDGsを意識した施策を展開する。」という方向性を示しているものの、SDGsの達成に特化した数値目標というものは設定していない。今後、大町市等の先進事例を参考にしつつ、必要に応じ、具体的な目標のあり方について検討したい。



「介護保険制度について」

問

介護保険制度が施行され20年目となるが、事業の総括、課題点は。

答

介護保険制度は、介護を社会全体で支え合う制度として、平成12年にスタートし、20年が経過した。この間、当広域連合は、介護保険事業の保険者として、将来にわたり安定した制度として発展させ、圏域住民の皆様に、より質の高い介護サービスを提供できるよう、関係市町村とともに連携して、介護保険事業の運営に努めてきた。

当圏域では、介護保険を広域化することにより、同一保険料で同じ水準の介護サービスが広域的に受けられることや、公平・公正な要介護認定など、様々な効果・利点が現れている。また、特別養護老人ホームをはじめ、介護基盤の整備が進められたことなどにより、住民の皆様に広く浸透し、社会に不可欠な制度として定着してきている。

本年4月1日時点の当圏域の高齢化率は36・9%であり、国県の平均より高い水準となっている。また、介護サービス受給者数は3,408人で、平成12年と比べると約二倍となった。

近年、少子高齢化の進展と人口減少が一層顕著になる中、第7期介護保険事業計画における基本目標の「地域ぐるみで支援が必要な高齢者を支え、住みなれた地域で、誰もが安心して暮らせる仕組み」として、地域包括ケアシステムの構築を目指し、構成市町

村や地域包括センター、医師会等の関係団体と連携し、着実な運営に努めている。

一方、この取り組みを推進する上で、介護現場の人材不足は大きな課題である。

この課題について、介護の担い手の確保に資するよう、介護予防・日常生活支援や、地域福祉の担い手の育成を目的として、平成28年度から、生活支援サービス従業者等の養成研修に取り組んでいる。

この研修を修了された方が中心となり、通所型サービス事業所3ヶ所が開設されるなど、一定の成果を収めている。

今後の課題として、研修修了者が、より多く介護サービスや地域の福祉活動へ参画いただける仕組みを構築することが必要となっており、引き続き、構成市町村や地域包括支援センターと連携して、介護人材の育成に努める。

第8期の介護保険事業計画では、住み慣れた地域で、一人一人が生きがいや役割を持ち、助け合い、支え合いながら暮らしていくことのできる社会を形成するため、医療、介護、生活支援、また地域支え合い活動等の各分野が密に連携する事で地域との交流を積極的に推進することとしている。

そのため、交流や仲間づくりを目的とした自主的な活動を積極的に支援するとともに、高齢者の居場所づくりの創出に努め、生きがい活動と社会参加を促すことにより、支援を必要とする住民の皆様が抱える多様な複合的な生活課題の解決を図ることに力を尽くしていく。

猪股 充弘議員（小谷村）

「冬に向けてのコロナ対策について」

問

インフルエンザ等の感染症が蔓延しやすい季節になるが感染した場合の対応等について。

答

これから本格的にインフルエンザが流行する季節を迎えるが、本年は、このインフルエンザの流行とあわせて、新型コロナウイルスの第3波の蔓延が大きく懸念される。

広域連合としても特にうがいや手洗いの徹底、3つの「密」を避ける取り組み、マスクや消毒液の確保によるインフルエンザと新型コロナウイルスの感染予防を、管内市町村の保健、包括支援センター及び介護事業所に周知する。

また当広域連合が主体となって設置している介護老人保健施設虹の家や、養護老人ホーム鹿島荘等においても、感染防止対策を徹底し、入所者及び利用者の皆様の安全確保に力を尽くしていく。

仮にコロナウイルスの感染が疑われる場合には、最初に保健所やかかりつけ医へ電話で相談いただき、必要な場合には、その指示に従い、医療機関においてPCR検査を受けていただくことになる。

なおこのPCR検査については、県において、2月中旬を目途に、かかりつけ医で患者の診断や検査への対応が難しい場合には、保健所を介さず対応できる491ヶ所の診療検査医療機関を新たに設け、検

査を行う体制が整備されると伺っている。

また、PCR検査において陽性と判断された場合は、感染症指定病院へ入院いただき、治療を受けることになる。

なお重篤な症状により救急搬送の要請があった場合には、必要に応じて、消防署の救急車が徹底した感染防止の対策を講じた上で、搬送に当たることとなる。

圏域住民や観光客で発熱症状のある患者の搬送については、保健所やかかりつけ医などの指示がある場合はそれに従うとともに、それ以外の場合には、まず周囲への感染を防ぐ方法により、自家用車などによる医療機関への移動の手段をご検討いただくこととなる。

また自ら移動手段を持たない、軽症で新型コロナウイルスに感染した可能性のある方の受診のための搬送を確保するため、1例だが、大町市では、運転席への感染防止のための減圧装置を特別仕様で装備した車両を運行するシステムが、市観光協会に市が補助して整備し、タクシース会社に委託して有料の移送サービスとして始まる。

また、白馬、小谷両村においても、感染の疑いがある方を搬送する取り組みが行われていると伺っている。

当圏域においては、観光客の受け入れによる地域経済の底上げは重要な課題であり、市町村との連携のもとで、引き続き感染予防の対策に努めていく。

矢口 稔議員（池田町）

「新型コロナウイルス感染症対策について」

問

介護医療従事者等へのPCR検査の実施について、広域連合としての対応は。

答

介護医療従事者等へのPCR検査の実施について、これからインフルエンザが流行する季節を迎えるに合わせ、本年は第3波の新型コロナウイルスの蔓延も大いに懸念される。

管内の福祉施設等における感染予防対策については、国の指針に従い、マスクの着用やアルコール消毒をはじめ、一定の面会制限や職員及び利用者の検温を徹底するなどして、サービス提供に当たっていただいている。

介護従事者の皆さんは、通常の業務に加え、感染症予防等に配慮し、介護サービスの提供を担っていただいております。こうした負担の増加に対する国からの支援として、介護事業所等の職員に対する慰労金給付制度が創設されており、広域連合としては、事業所に対する介護サービス継続への支援事業などを含め、広く周知に努め、介護事業の維持継続を図るための支援を実施している。

PCR検査については、感染が疑われる場合、まず保健所やかかりつけ医等に電話で相談いただき、受診が必要と判断された場合には、行政検査として実

施されることになる。

なお、これからは、新型コロナウイルスと症状が類似している季節性インフルエンザの流行期を迎えることから、県では、かかりつけ医で患者の診断や検査への対応が難しい場合、保健所を介さず、県内491ヶ所の診療検査医療機関で検査ができる体制を整備するとしている。

これらの機関は、いずれの感染症か判別しにくい発熱患者の診察受け入れの意思を示した、内科や小児科、呼吸器内科など、県内医療機関の約4割を指定し、そのうち300ヶ所では、検体採取も可能になるとされている。

また、コロナウイルスへの感染を心配する大勢の方が直接医療機関を受診することにより、緊急な措置を必要とする重症者の治療が遅れることを防ぐため、国が推奨している接触確認アプリが反応するなど、感染が疑わしいものの医療機関の電話番号がわからない等の場合に備え、保健所のこれまでの、有症状者相談窓口を受診相談センターと改称し、相談等への対応を充実するという方針を示している。

広域連合では、介護サービス事業所から相談を受けた場合には、事業所で迅速な対応がとれるよう、保健所とも連携して、支援に努めていくこととしている。

また、コロナ渦での介護サービス事業所の運営状況等については、必要に応じて、随時調査などを実施するとともに引き続き、県、市町村及び地域包括支援センター等と密接な連携を図り、必要な支援に力を尽くしていく。

2月定例会開催

令和3年2月2日・3日に開催された2月定例会では、報告案件1件、条例案件4件、予算案件12件の計17件の議案が提出され、すべて承認・可決されました。

専決処分の報告について

令和2年9月に介護老人保健施設虹の家で起きた事故について、その治療費について賠償するための損害賠償額を専決したものです。

条例の制定について

次の条例の一部改正を行いました。

- ◇北アルプス広域連合一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例
- ◇北アルプス広域連合介護保険条例
- ◇北アルプス広域連合介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例
- ◇北アルプス広域連合火災予防条例

令和2年度補正予算について

- ▼一般会計（第5号）
- ▼ふるさと市町村圏事業特別会計（第2号）
- ▼介護老人保健施設事業特別会計（第2号）
- ▼介護保険事業特別会計（第3号）
- ▼平日夜間救急医療事業特別会計（第2号）

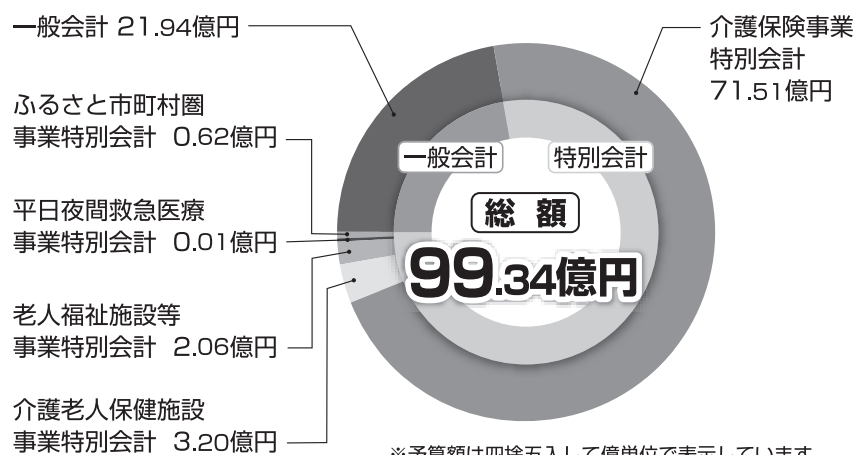
▼老人福祉施設等事業特別会計（第3号）
いずれも事業実績見込みに基づく補正

令和3年度当初予算について

一般会計と5つの特別会計の総額約99億万円の予算が可決されました。

広域連合予算全体としては、介護給付費の増を見込んだことなどにより、令和2年度予算と比較して、3億8365万7千円、4.0%の増となりました。

令和3年度当初予算

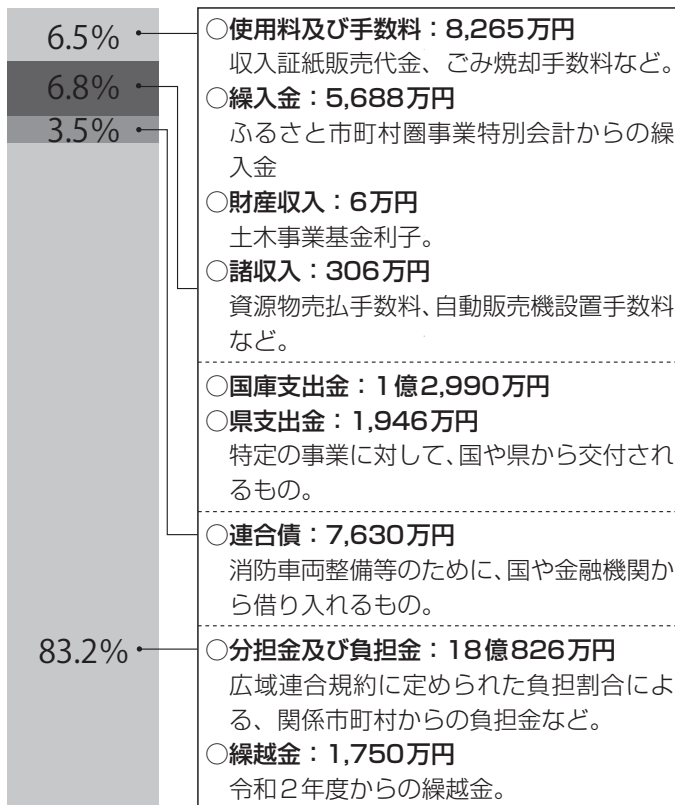


会計名称	当初予算額 (単位：万円)	前年度比	概 要
一般会計	21億9,408万円	△3.0%	一般廃棄物処理施設北アルプスエコパークの管理・運営、北アルプス広域葬祭場の管理・運営、消防・救急活動、土木事業に係る設計・積算、情報処理システムの共同設置・管理運営等の業務を行います。
介護保険事業特別会計	71億5,101万円	5.6%	介護サービスに対する給付など、介護保険の保険者として、介護保険事業の運営を行います。
介護老人保健施設事業特別会計	3億1,990万円	10.5%	市立大町総合病院に併設する介護老人保健施設虹の家の運営を行います。
老人福祉施設等事業特別会計	2億587万円	△0.3%	養護老人ホーム鹿島荘・グループホームひだまりの家の運営を行います。
ふるさと市町村圏事業特別会計	6,230万円	1016.2%	ふるさと市町村圏基金を活用し、市町村の地域振興イベントへの補助等を行います。
平日夜間救急医療事業特別会計	52万円	△97.0%	平日夜間小児科・内科急病センターの経費。

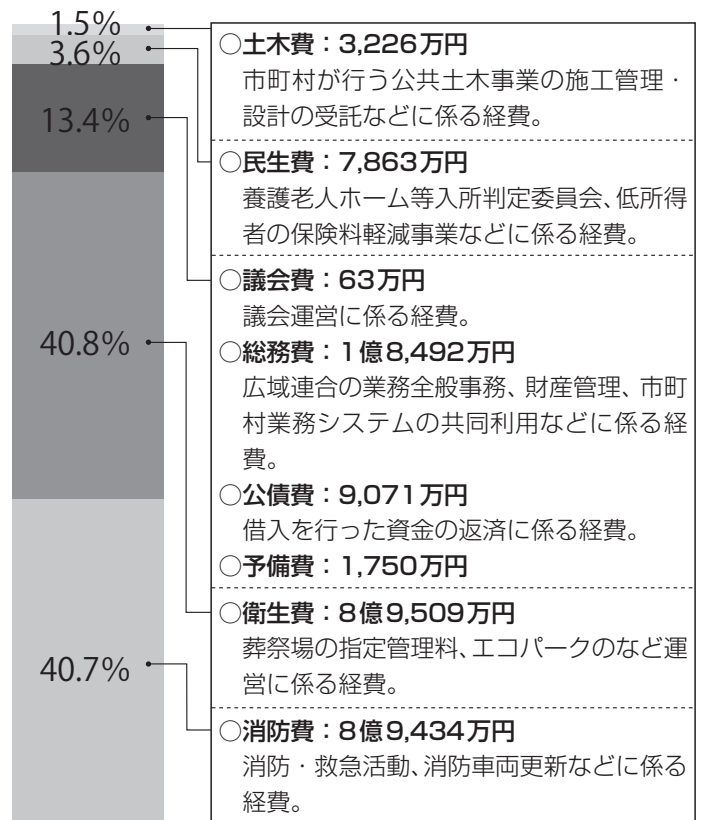
一般会計

総額 21億9,408万円

歳入



歳出



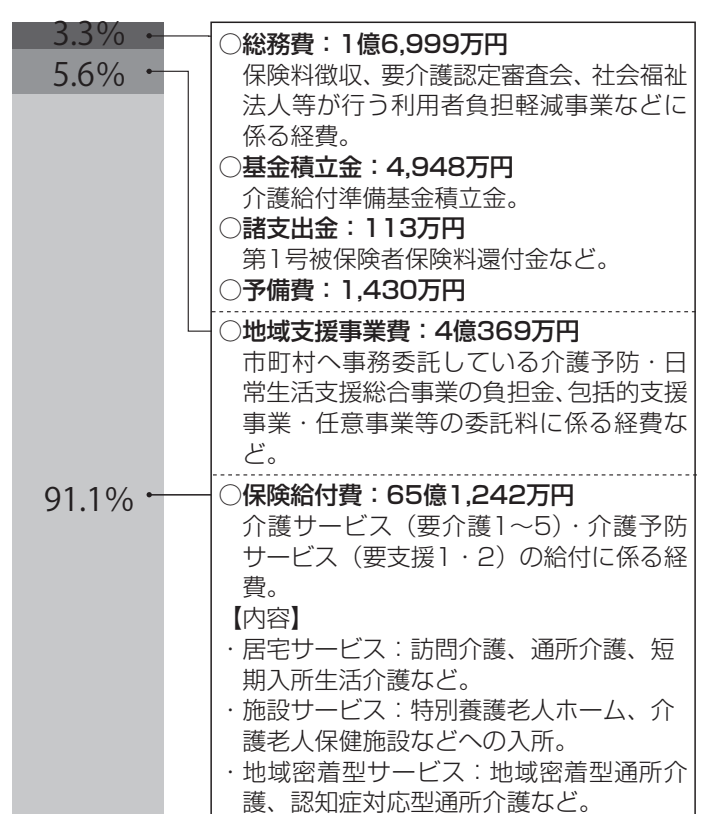
介護保険事業特別会計

総額 71億5,101万円

歳入



歳出



※各予算額の四捨五入の関係から、歳入歳出の合計は総額と一致しません。

広域消防からのお知らせ

松川村で消防総合訓練を実施

令和3年2月28日に、松川村すずの音ホール周辺施設にて、消防総合訓練を実施しました。

この訓練は、春の全国火災予防運動事業の一環であり、南部消防署を始め松川村消防団、松川村役場など多くの関係機関が参加し、災害時の連携強化と火災予防の啓発を行いました。

訓練の内容は、開館中のすずの音ホールとその周辺施設の火災を想定し、

- ・施設職員の防災訓練及び、消防署や消防団による消火活動訓練
- ・火災建物に取り残された要救助者の救出訓練
- ・救助された負傷者に対する応急処置や搬送順位決定訓練
- ・その活動を統括する部隊指揮訓練を行い、大規模火災に対応すべく、総合的な活動内容として実施しました。

特に今回の訓練では、図書館を併設する施設の特性を考慮し、要救助者には複数の子どもを想定して実施しましたが、これにより一層高い士気を持って活動する参加者の姿が見られた質の高い訓練となりました。



旧規格消火器は令和3年12月31日までに交換が必要です！

2011年1月1日に消火器の規格省令が改正されたことにより、旧規格の消火器は2021年（令和3年）12月31日を過ぎると消火器として認められなくなりますので、早めの交換をしてください。

適応火災マークを確認してください！



文字表示の消火器は、交換が必要です。



絵表示の消火器は、今後も設置可能です。



適応火災のマーク



普通火災用

油火災用

電気火災用

ご不要となった消火器はお近くの販売店へ

ご不要の消火器は廃棄の窓口となる「特定窓口」(消火器販売店等)または「指定引取場所」(メーカー営業所等)へお持ちください。お近くの窓口は消火器リサイクル推進センターのホームページまたはお電話(03-5829-6773)でご確認できます。

廃棄窓口はスマホで検索▶



北アルプスエリア *Green Season* **EVENT CALENDAR** 【市外局番 0261】

詳しくは、各市町村または各市町村の観光協会・観光局・観光連盟等へお問い合わせください。

5月	5月5日(水・祝)	塩の道湖畔ウォークとフォトコンテスト 大町市観光協会 ☎22-0190	中止となった「第42回塩の道祭り」に代わり大町市独自の塩の道周辺を楽しむウォーキングイベントを開催します。
	5月中旬	新緑の雨引山トレッキング 松川村観光協会 ☎62-6930	しゃくなげや三つ葉つつじを眺めながら、ゆっくり歩いて片道2時間半。頂上からは松川村、大町市が一望できます。
	5月下旬	ちひろが愛した安曇野・まつかわ 北アルプスパノラマウォーク春 松川村観光協会 ☎62-6930	ちひろのスケッチポイントを巡る8kmのコースです。舟方遊歩道を歩きながら眺める水鏡の絶景は見事です。地元ガイドの案内あり。
6月	6月5日(土)～6日(日)	つがいけサイクル"クラシック"2021 樽池高原観光協会 ☎83-2515	全長17kmのヒルクライム自転車ロード大会を開催します。
	6月6日(日)予定	第64回針ノ木慎太郎祭(夏山開き) 大町市観光協会 ☎22-0190	近代登山の先駆者として語り継がれる百瀬慎太郎の業績を講義、夏山の開山祭として針ノ木大雪渓で祭典、記念登山や植物観察を行います。
	6月12日(土)	樽池自然園開園祭 樽池ビジターセンター ☎070-4091-5204	中部山岳国立公園にある標高1,900mの高層湿原のオープニングイベントを行います。
	6月12日(土)	雨飾高原安全祈願祭 小谷温泉ガイドクラブ ☎090-8873-1617	雨飾高原の安全祈願と記念登山を行います。
	6月20日(日)予定	木崎湖湖水開き地引網と水上トレッキング 大町市観光協会 ☎22-0190	新緑の中、地引き網にチャレンジし、湖畔をゆっくり歩いた後は湖上をモーターボートで爽快に湖上散歩。
	6月27日(日)	風吹岳夏山開き 風吹高原観光協会 ☎85-1086	風吹大池で夏山開きと安全祈願が行われます。
	7月17日(土)～8月31日(火)	樽池自然園「MIKKETA!」 樽池ゴンドラリフト㈱ ☎83-2255	国立公園内で動植物や自然について学べる教育プログラム
8月	8月21日(土)～10月10日(日)	北アルプス国際芸術祭2020-2021 北アルプス国際芸術祭実行委員会事務局 ☎85-0133 大町市(源流エリア/仁科三湖エリア/市街地エリア/東山エリア/ダムエリア)	来場される皆様の安全・安心を最優先に感染防止対策を徹底する中で開催をいたします。大町市の豊かな自然と誇るべき歴史・文化とマッチした現代アート作品に触れていただき、非日常的な空間における、気持ちの安らぎを皆様にご提供いたします。
	8月28日(土)～29日(日)	中谷大宮諏訪神社例祭 小谷村観光連盟 ☎82-2233	県無形民俗文化財の狂拍子や奴踊り等が行われます。
9月	9月4日(土)～5日(日)	川内諏訪神社例祭 樽池高原観光協会 ☎83-2515	賑やかな宵祭りや浦安の舞奉納等が行われます。
	9月11日(土)～12日(日)	千国諏訪神社例祭 小谷村観光連盟 ☎82-2233	子宝に恵まれますようにと鮮やかな衣装とお面、手にササラを持ったユニークな踊りが見所です。
	9月中旬	すずむしヒーリングナイトツアー 松川村観光協会 ☎62-6930	提灯片手に行灯の光に導かれ、野生のすずむしの音色を聴きながら、すずむし公園まで1km歩きます。
	9月末～10月初旬	小谷きのご祭り サンティン・あたり ☎82-2228	天然舞茸の品評会等を行います。
	10月中旬～11月中旬	おたり新そば祭り 小谷村観光連盟 ☎82-2233	小谷村内各所のそば店が参加します。
10月	10月30日(土)	小熊山紅葉トレッキング 大町市観光協会 ☎22-0190 小熊山トレッキングコース	小熊山トレッキングコースを紅葉と北アルプスの景色を楽しみながら歩きます。ランチタイムは木崎湖の絶景が広がる「木崎湖展望地」にてとっていただきます。
	11月3日(水・祝)	第6回OMACHIロゲイニング 大町市観光協会 ☎22-0190	起伏の激しい山道から、古き良き町並み、雄大な北アルプス、秋の田園風景など、大町市の魅力を存分に楽しめるロゲイニング大会。
11月	11月7日(日)	絶景の北アルプスと塩の道ウォーク 大町市観光協会 ☎22-0190	大町市の南に位置する国宝仁科神明宮から塩の道を信濃大町駅まで歩くウォーキングイベント。ガイドの説明付き。

新型コロナウイルス感染症の集団感染防止のため、イベントが急遽中止となる場合があります。開催の可否等、事前にイベント主催者へお問い合わせをしてからご参加ください。

長野県小児救急電話相談

夜間のけがや急病などの際、応急対処の方法や受診の要否などについて助言を行います。

■電話番号 局番なし #8000 または 0263-34-8000

■時間 午後7時～翌日午前8時(毎日)

北アルプス平日夜間小児科・内科急病センターは、新型コロナウイルスの感染防止対策が困難なため、当分の間、休診します。 ■問合せ 北アルプス広域連合総務課 Tel 22-6764